

茨木市は弥生時代の昔から、生活に適した地として多くの人々が暮らし、文化を発展させてきました。さらに京都に都が置かれると、西国への交通の要衝として発展しました。

それぞれの時代で営まれた遺跡や遺構を紹介しながら、茨木の日本史における高い意義を分りやすく解説します。



講師 **渡部 裕明さん**
歴史ジャーナリスト、
産経新聞客員論説委員

昭和 25 (1950) 年、愛媛県今治市生まれ。49 年、産経新聞入社。京都支局で司馬遼太郎氏も所属した宗教担当となり、歴史取材の面白さに目覚めた。

現場主義をモットーに、黒塚古墳の発掘や「本能寺の変」の謎に迫る石谷家(いしがいけ)文書の発見を取材した。

東京本社論説副委員長などを経て、現在は産経新聞客員論説委員。毎月第 1 火曜日朝刊に歴史コラム「國史へのまなざし」を連載中。

日本史の 中の茨木

〜東奈良銅鐸遺跡から茨木城まで〜

平成 30 年

1 月 28 日 日

14:00 ~ 16:00 (受付 13:30)

場所 **福祉文化会館 302 号室**

(駅前四丁目 7-55 両駅から約 700 メートル)

定員 **100 人** (要申し込み)

費用 **300 円**



お申し込み・お問合せ先

茨木市市民活動センター

☎ 072-623-8820

〒567-0888 茨木市駅前四丁目 6-16 クリエイトセンター内

■ 開所時間 / 9:30 ~ 18:00 まで ■ 休所日 / 月曜日・祝日

■ <http://www.ibaraki-npo.jp/> ■ ibaraki-npo@cyber.ocn.ne.jp

※茨木市市民活動センターは、「NPO 法人 いばらき市民活動推進ネット」が茨木市から指定管理者として指定を受け、管理・運営を行っています。